

&lt;認知症対応型共同生活介護用&gt;

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670700493
法人名	社団法人 大島郡医師会
事業所名	グループホーム 虹の丘
訪問調査日	平成 21 年 8 月 26 日
評価確定日	平成 21 年 10 月 7 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 9月 5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670700493
法人名	社団法人大島郡医師会
事業所名	グループホーム 虹の丘
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字知名瀬2229番地 (電話) 0997-54-8823

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島市城山一丁目16番7号
訪問調査日	平成21年8月26日
評価確定日	平成21年10月 7 日

## 【情報提供票より】( 21年 8月 4日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成 17年 1月 12日
ユニット数	1 ユニット
職員数	9 人
常勤	7 人
非常勤	2 人
常勤換算	7.6 人

### (2)建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1 階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	光熱費(月額)	3,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	— 円
	または1日当たり 円			

### (4)利用者の概要( 8月 4日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88 歳	最低 79 歳	最高 97 歳		

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	大島郡医師会病院 登山歯科医院
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大島郡医師会設立のグループホーム虹の丘は、地域の方々とのつながりを大切に、利用者と地域の行事・奉仕作業に参加し、地域密着型サービスに、取り組んでいる。母体法人の老健施設・協力医療機関の大島郡医師会病院との連携があり、利用者や家族は、健康面で安心して生活している。職員は、利用者が笑顔でその人らしく生活できるように、家族のように関わり合いサービスのケアに努めている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年の外部評価は、職員会議・運営推進会議での報告にとどまり、改善の取り組みは今後の対応となる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員会議で話し合いまとめているが、記録が残されていない。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を2ヶ月ごとに年6回、市職員・包括支援センターの職員が参加して開催されている。不審者対応・地域の行事の情報を頂いたり、事業所の運営に役立っている。運営推進会議録を家族に公表している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は、総会・カラオケ大会・クリスマス会の年3回開催し、意見を表せる機会を作っている。面会時に頂いた意見・要望は、職員がノートに記録して職員は情報を共有し、話し合い運営に反映している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑥	地域清掃に参加したり、地元の方々が事業所周辺の草刈をしてくださったりと地域活動に参加することで、地元の交流を大切にしている。保育園の子供たちと芋ほり・カラオケ等交流をしている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成20年に職員と話し合い「地域の方々とのつながりを大切に・・・」と、地域密着型サービスとしての理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域への活動を多くしていきたいと、年間計画の中に組み込み理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域清掃に参加したり、地元の方々が事業所周辺の草刈をしてくださったりと地域活動に参加することで、地域の交流を大切にしている。保育園の子供たちと芋ほり・カラオケ等交流をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価は、職員会議・運営推進会議での報告にとどまり、改善の取り組みはなされていない。自己評価は、職員会議で話し合いまとめているが、記録が残されていない。	○	自己評価は、時間をかけて作り上げ、職員一人ひとりの介護ケアの振り返りの機会にされ、取り組みを記録に残すことを望みます。外部評価も改善点の継続的な取り組みをされサービスの質の向上に取り組まれることを望みます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月ごとに年6回、市職員・包括支援センターの職員が参加して開催されている。不審者対応・地域の行事の情報を頂いたり、事業所の運営に役立っている。運営推進会議録を家族に公表している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者より利用者の困難な事例の助言を頂いている。また、施設内研修の資料を提供してもらったり、テーマについてアドバイスを貰い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時に利用者の健康状態・生活の様子など報告している。「虹の丘便り」を年3回発行し、事業所の近況報告・職員の異動の報告をしている。金銭管理については、面会時に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は、総会・カラオケ大会・クリスマス会の年3回開催し、意見を表せる機会を作っている。面会時に頂いた意見・要望は、職員がノートに記録して職員は情報を共有し、話し合い運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内異動がある。新人職員が入職した時は、職員の人員を増やし、1週間業務手順に従って新人教育をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については、職員会議で伝達講習を行い、職員で共有している。事業所内研修では、認知症に対応する勉強会・老健のマニュアル研修を参考に行っている。	○	事業所内研修の年間計画・新人教育計画を作られ、研修実施記録を残し、全職員が研修内容を周知し、サービスの質の向上に取り組むことを希望します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大島のグループホーム協議会の研修会に参加している。職員は、近くのグループホームと勉強会を行い、その後見学をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族同伴で見学に来てもらい、2週間ほど通ってもらい体験してもらい開始している。入居後は、見守りを多くしたり、添い寝するなど利用者が雰囲気徐々に馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者から料理の手順・野菜作りなど学びながら、洗濯物たたみ・食事の準備・片付けを一緒に行いお互い支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアカンファレンスで職員の気付き・利用者の経過記録・家族からの意見を話し合い、思いや意向のは把握をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議で、家族・担当職員・計画作成担当者・看護師が参加して、意見を出し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月1回カンファレンスを行い、職員の意見・モニタリングを参考に取りまとめて、見直しをしている。対応できない変化が生じた場合は、随時見直しをして、現状に合った計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携をとり、早期退院の支援・看護師による健康管理をしている。家族の要望により、病院受診・外出支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望するかかりつけ医になっている。眼科・物忘れ外来等、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については、本人の病状によってその都度主治医・家族と話し合っている。	○	事業所として出来ること出来ないことを職員と話し合い明確にされ、重度化に伴う意思確認書を作成することを勧めます。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、入職時に秘密保持についての契約書を交わしている。プライバシー保護についてマニュアルを作成し、勉強している。記録物は、事務室に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の起床をゆっくりされる方・食事時間をゆっくり取っている方・散歩に出かける方など、利用者のペースを大切に希望に添って支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関する一連の作業を利用者の力量にあわせて、利用者と職員が一緒に行い、一緒に食事をしている。法人の管理栄養士からの献立をもらっているが、誕生会には、手作りのケーキを作って皆で楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、週2回を予定しているが、希望があれば毎日でも時間変更も可能である。拒む方には、声かけの工夫・家族の協力をもらい入浴している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	菜園の水遣り・洗濯物干しやたたみ・食事に関する一連の作業など、利用者の力量に合った場面作りをして役割をもらっている。散歩・ドライブ・カラオケと楽しみごと気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	菜園作り・敷地内でのお茶会・散歩・ドライブと、戸外に出かけられるよう支援をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解し、外出傾向のある方の様子観察をして、行動を察知して利用者と一緒について行っている。近隣の方々へ見守りの協力をお願いしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を年2回計画している。運営推進会議で消防訓練に地域の人々の協力をもらえるようお願いしている。非常食の準備はしてある。	○	地震・風水害の避難訓練の自主訓練を行い、職員が自信を持って避難誘導できるように期待します。

鹿児島県 グループホーム虹の丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量のチェックを行い、毎月体重測定を行い体重の増減で栄養士のアドバイスをもらっている。献立は、法人の管理栄養士が作成している。ミキサー食も取り入れ利用者の状態や力に応じて支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は、「ゆらい処」という看板が吊るされた居間兼食堂で、料理のできる匂いを感じたり、カラオケなどのレクリエーション等をして、日中のほとんどを過ごしている。一段高い畳の部分があり、利用者が好きなところでくつろげる工夫をしている。大きな窓からは、畑の様子が見え季節感を感じ、居心地よく過ごされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドと布団は、備え付けられているが、ダンス・パイプハンガー・時計・写真が、持ち込まれ利用者それぞれの部屋が作られている。		